

「在宅診療を受ける高齢者の活動量及び姿勢に関する調査」へのご協力をお願い

中国地方で在宅診療を担う医療機関の皆様

この度、当講座では在宅診療を受ける高齢者の活動量及び姿勢に関する調査に取り組んでおります。

身体活動が多い人は、心疾患、生活習慣病、骨粗しょう症、大腸がんなどの罹患率や死亡率が低いこと、また身体活動は精神的な健康や生活の質の向上に寄与することが認められています。また高齢者においても身体活動の有用性が指摘されており、日常生活における身体活動は寝たきりや死亡の減少への効果が認められています。しかし、外来通院が困難になり在宅診療を受ける活動レベルの高齢者が日々の程度の活動を行い、また座ったり歩いたりする姿勢を保っているのか、そして介護保険サービスによりどの程度の活動量・姿勢が確保されているのか、さらに活動量が低下した高齢者の活動量や姿勢が保持されることに伴う効果は、不明なことが多いのが現状です。

そこで下記のような目的において、本調査の実施を計画しています。

- ① 加速度計を用いて、在宅診療を受ける高齢者の実際の活動量や姿勢を明らかにする
- ② 在宅診療を受ける高齢者の活動量や姿勢は、どのような背景要因（基礎疾患・介護度・栄養状態など）と関連しているのかを明らかにする
- ③ 高齢者の活動量や姿勢の経時的変化と急性期疾患（肺炎や尿路感染など）発症、在宅生活継続期間との関係を明らかにする

・本調査で対象とする施設は、下記の2つ全てを満たしていることです。

- ① 6年以上の臨床経験かつ、2年以上の在宅診療の経験がある医師が診療に携わっていること
- ② 複数の医師体制（常勤・非常勤とわず）で在宅診療を行っている施設であること

本調査に興味をもって頂ける方は、下記メールアドレスにご連絡いただけますと幸いです。木島庸貴 kijima@med.shimane-u.ac.jp

ご連絡を頂きましたら、各医療機関の担当者と研究責任者（木島庸貴）が研究計画についてお話をいたします。同意頂ける場合、責任者の方が島根大学の規定する倫理規定についての確認が必要になります。当大学が規定条件と照らし合わせたうえで、e-learning受講の対象となる場合は、e-learningを受けていただき、その上で島根大学の倫理審査を経て、調査が開始されます。もしe-learningを受講する必要があると判断された場合の費用

は当方で負担しますので、施設側の負担はありません。

回答期限：2019年9月30日

興味がある方、またご質問などございましたら、下記のメールアドレスまでご連絡下さい。どうぞ宜しくお願いいたします。

木島庸貴

島根大学医学部総合医療学講座 大田総合医育成センター

kijima@med.shimane-u.ac.jp

島根大学医学部 総合医療学講座 〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

TEL：0853-20-2635 FAX：0853-20-2634

大田総合医育成センター 大田市立病院〒694-0063 島根県大田市大田町吉永 1428-3

TEL：0854-82-0330 FAX：0854-84-7749